

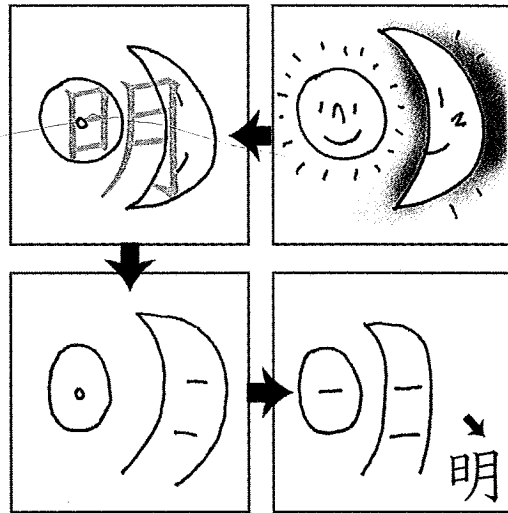
二年

圖9  
 目チヨク・ジキ  
 直ただチニ・なおス・  
 なおル



二年

圖8  
 目スイ・ミヨウ  
 明あかり・あかルイ・  
 あかルム・あかラム・  
 あけれ・あく・あクル・  
 あカス・あきラカ



「十」と、「目」と、もの隅を表した「」とを組み合わせた字です。「十人の目で見れば、もの隅々まで間違いなく「直ち」に見通すことができ、たとえ間違いがあつたとしても「直す」ことができる「」ことを表しています。「直ちに」「直す」「直る」、また「まっすぐ」「正しい」という意味に使われます。

**熟語例**  
 直立Ⅱまっすぐ立つこと  
 直訴Ⅱ決まった手続きを踏まないで、じかに上の人に訴えること

**同時に覚えるよい字**  
 「値」は、「十人の人の目の見るところは厳正で、本当の「値打ち」がわかる」の意味を表した「直」と、「イ」とを組み合わせた字です。「人としての本当の「値打ち」」を意味します。今は、人に関係なく、「値打ち」の意味に使われます。熟語例Ⅱ値段、価値

昼を明るく照らす「お日様」と、夜を明るく照らす「月」とを組み合わせて、「明るい」という意味を表します。

**熟語例**  
 透明Ⅱ透き通って、よく見えること  
 明日Ⅱあした（「あす」とも読みます）

**同時に覚えるよい字**  
 「朗」は、「良い」という意味を表した「良」と、「月」とを組み合わせた字です。「良い月」という意味で、「月の光がとても「明るい」」ことを表したものです。今では、「月の光」にかぎらず、「明るい」「ほがらか」の意味に使われます。熟語例Ⅱ明朗、朗読